



月 日 時頃に伺いました。

人にやさしいデジタル化を進めます

第10号記念号 TT通信

発行責任者 田中達也
香川県三豊市詫間町詫間 3905-3



第10号記念企画特集

高齢化の進むまちに
デジタルがもたらす未来について考えよう！



活動報告

- 議会でこんなこと質問しました
- » 令和4年12月 一般質問
- » 令和5年3月 代表質問
- » 令和5年6月 一般質問
- » 令和5年9月 一般質問

詳細は中面を
ご覧ください

提案が採用されました

- » データ連携基盤の開発
- » Google EIE 三豊市のデータが公開
- » ZEH 補助金が新設されました
- » MitoPay サポート窓口の設置
- » オンライン議会報告会の開催と会場型議会報告会の Youtube 配信



ご挨拶

TT 通信読者の皆さま、いつも文字ばかりの報告を隅々まで読んでいただき、ありがとうございます。大変な編集作業ですが、皆様方の声に励まされ、遂に第10号の発刊となりました。

市政や議員活動に興味を持っていただくため、色々と考えて取り組んではいるのですが、市政に興味を持っていただくのは非常に難しいというのが今の所の感想です。しかし、まだまだ諦めません。

今後も SNS に加えて動画配信、ネットの苦手な方には紙媒体と、あらゆる手段を駆使して、市民の皆さまに伝える努力を続けて参りますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

第10号記念企画特集

高齢化の進むまちにデジタルがもたらす未来について考えよう！

「人にやさしいデジタル化を進めます。」
この言葉には、私の信念が込められています。

デジタル活用を推し進めていると、デジタルに苦手意識のある方々から「我々を置き去りにしている」と嫌悪感を示されることも多々あります。

でも、それじゃダメなんです。

高齢化が進み、生産年齢人口が減少した社会に福祉を行き渡らせるためには、居住地を集約したコンパクトシティが理想です。しかし、住み慣れた土地に住み続けたいという気持ちは根強く、物理的にコンパクトシティを実現することは皆様方も望んでいないでしょう。

ではどうするのか？

デジタルの力で距離を縮める「仮想コンパクトシティ」を実現し、持続可能な行政を作っていくしかないのです。



- わざわざタクシーを使って行かなくても、スマホで手続きができる市役所
- 足腰の痛みに耐え、あるいは忙しい中時間を作って広報や回覧を届けるのではなく、個人が必要とする情報だけをスマホに届ける個別最適な情報発信
- 移動したいときには、スマホで発着点を示せば、車が迎えに来てくれる

これらの新しいサービスは、市民がデジタル活用力を備えることで大きな力を発揮します。

そうです。「置き去りにしないためのデジタル化」なのです。

そのために私が必要だと考えるのが、市民同士で支えあう「共助」によるデジタル活用力の底上げです。

■活用力を高める共助の取組

試しにやってみたのが、まちづくり推進隊託問主催の「ミトペイ相談会」です。

まず「デジタル推進委員会」を組織し、11名が任命されました。

デジタル推進委員は、デジタル機器・サービスを不慣れた方に対し、利用のサポートを行うボランティアのことで、デジタル大臣が任命するものです。

次に、「ミトペイ30%ポイント還元キャンペーン」の実施に

合わせて、推進委員会による相談会を実施

しました。ミトペイの使い方や申請方法を自分でできるよう

になってもらうために、マンツーマンで指導するものです。

★ここで考えてみましょう

8月の30%ポイント付与キャンペーンでは、当初マイナンバーカードによるアプリ上での本人確認が必須とされていました。これが申込期間後半に、支援窓口で免許証等の本人確認書類を提示することで申し込み可能となるように変更されました。事業目的が「市民生活応援」である以上、



マイナンバーカードを持つていない人に支援が届かないのは不公平だというご意見を見て柔軟に対応したことは、正しいことだと思えます。

しかし、このような事業を実施するたびに、窓口を開設し続ける必要があるとしたら：

■地域の未来のために

窓口要員の人員費、外部委託費により財政負担は減らず、さらに今後は、働き世代の減少により、要員確保もままならなくなっていくでしょう。

仕事中に何とか時間を作って窓口に行けば、そこは長蛇の列。容易に想像できませんね。

対面の窓口は必要ですが、財源には限りがあります。皆様方は「支援の内容」と「手続きに要する経費」どちらにお金をかけてほしいですか？

私は支援を厚くしたいので今後も議員として、人にやさしいデジタル化を進めます。



もちろんそれ以外のこともやりますので、なんでもご相談ください。
田中たつや事務所には、秘密厳守の相談室もございます。



令和4年12月
一般質問

- ①スーパー等でレジ袋の代わりに「指定ごみ袋」を販売する取組を
- ②公共施設のインターネット予約を導入せよ
公共施設の複合化が進み、今後は既存の地域活動で施設を占有できなくなっていくことから、ストレスなく施設を共有利用するためにはネット予約が不可欠であると提案しました。令和8年度までに対応との答弁でした。
- ③A I 型教材 Qubena の積極的利用を
小中学校の子どもたち向けに、一人当たり月額660円を支出して提供しているAIドリルが、学校の判断であまり活用されていない実態をうけ、自宅から自由に使えるようIDを通知することを提案
- ④説明会等に参加できない市民への配慮として、説明会等のアーカイブ動画を提供せよ



▼動画で見る



令和5年3月
代表質問

会派桜の木を代表して質問しました

- ①施策の中心的役割を果たすデジタル化とベーシックインフラ構想
- ②後期基本計画の策定
- ③コミュニティ再編の指針
合併後もさまざまな組織が旧町の枠組みのまま活動しています。その状態で公共施設の複合化が実施され、それらの活動や組織が占有できていた施設が無くなっていくことに市民は困惑し、各論反対を招いていることから、新たなコミュニティデザインを市民に示すべきと提案しました。
- ④知・体・心を育み、自分らしく暮らせるまち

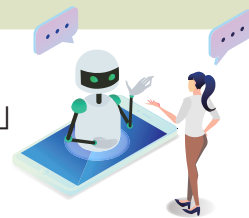


▼動画で見る



令和5年6月
一般質問

- ①生成型AI有効活用のための人材育成を
生産性向上のため、生成型AIを使うために重視されるスキル「プロンプトエンジニアリング」を市職員や市内事業者が身につけられるよう、育成事業の実施を提案しました。
- ②市民のデジタル活用力を高める取組を実施せよ
市が提供するデジタルサービス、例えばMitoPayやLINE公式アカウントなどを効果的に活用するには、市民の助け合いにより使い方を学べる仕組みが必要であると提案しました。
- ③大規模災害発生時の各種協定を実効性のあるものに
三豊市は災害発生に対応するため、様々な連携協定を結んでいますが、実際に機能するよう維持されているのかについて質問し、市主催の防災訓練への参加を促すことで維持につながると提案しました。



▼動画で見る



令和5年9月
一般質問

- ①市民への情報発信をさらに充実させよ
市が広報紙、ホームページ、LINE公式アカウントの3つを主要な発信媒体として考えていることを確認し、LINEでのセグメント配信について効果を高めるため、見直しを行うよう提案しました。
- ②ICT教育をさらに推進せよ
教育委員会が示すICT教育のイメージが、学校で実践できていないことから、学校を通さず、直接児童生徒や保護者にアプローチすることも必要であると提案しました。
- ③警報発表時の学校等のルールを改善せよ
市内に警報が発表された場合、小中学校・幼稚園・放課後児童クラブは臨時休校、自宅待機となります。局地的大雨でも警報は市全域に出されるため、ルールは影響のないエリアにも適用されます。早急に改善すべきと提案しました。放課後児童クラブについては即見直しとの答弁でした。



▼動画で見る





提案が採用されました!

データ連携基盤の開発

日々蓄積されている行政データを、地域課題の抽出に生かしてほしいという提案が、「ベーシックインフラ事業」として形になりました。私が提案した行政データだけでなく、民間企業のデータも組み合わせ、行政・民間が共に活用し、新たなサービスの開発につなげるための、データ連携基盤として開発されました。



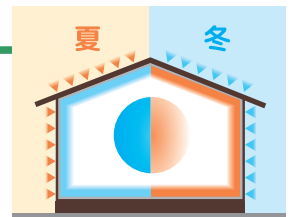
Google EIE で三豊市のデータが公開

市として脱炭素社会の実現に取り組むにあたり、市民の皆様にも現状を知っていただくべきだと考え、Google の温室効果ガス排出量推計ツール「Google EIE」において、三豊市の情報を公開するよう提案しました。自治体から Google への申し入れにより公開されるもので、国内の自治体では 28 番目の公開です。



ZEH 補助金の新設されました

昨年 3 月議会の代表質問と 9 月の一般質問で取り上げた「健康省エネ住宅」にあたるのが ZEH (ネットゼロエネルギーハウス)。脱炭素の取組として実施するものですが、断熱性能の高い ZEH には、ヒートショックなどの健康被害を大幅に減少させることが期待できます。



MitoPay サポート窓口の設置

8 月に実施された「MitoPay30%ポイント還元事業」にあわせて、市による申請サポート窓口が設置されました。加えて、まちづくり推進隊託問により、「デジタル推進委員による MitoPay 相談会」が実施されました。相談会には、私もデジタル推進委員として参加しました。公助+共助による市民のデジタル活用力向上への取り組みが、前向きに動き始めています。

オンライン議会報告会の開催と 会場型議会報告会の Youtube 配信

5 月に実施した議会報告会では、コロナ禍に始めた「Zoom を使ったオンライン報告会」を会場型とあわせて実施しました。また、会場型報告会も録画し、YouTube で配信しています。



質問・感想・相談

田中たつや Web サイト

<https://tt.mitoyoshi.com>
Email tt@mitoyoshi.com

田中たつや事務所

三豊市詫間町詫間 3913-1
TEL 090-1004-4745

TT通信を読んで下さる方へ

TT通信は、郵送・ポスティング等を行っておりますが、毎回全ての方々に届けるのは難しい状況です。購読ご希望の方は田中たつやWebサイト、メール、お電話で是非お申し込みください。ポスティングのお手伝いをしていただける方も、随時募集しております。



公式サイト

後援会入会

田中たつや
応援して
ください!

TT 通信申込

編集後記



今回の表紙の写真(紋付袴)は、詩吟の大会に参加した時のものです。さてコロナが5類に移行し、様々な行事が通常通り実施されるようになりました。その結果、議員として忙しく活動できることを嬉しく感じています。せっかくなので、更に忙しくなるように、皆様方からのご意見・ご相談をお待ちしております。選んだ議員は使っ
てなんぼですよ。

田中達也